

酒井俊 vocal
纈纈雅代 alto sax
田中信正 piano

2024 03月16日 (土)

開場 19:30 night live

開演 20:00

(2ステージ入替無) (1drink=600~)

MC=3700+2drinks order

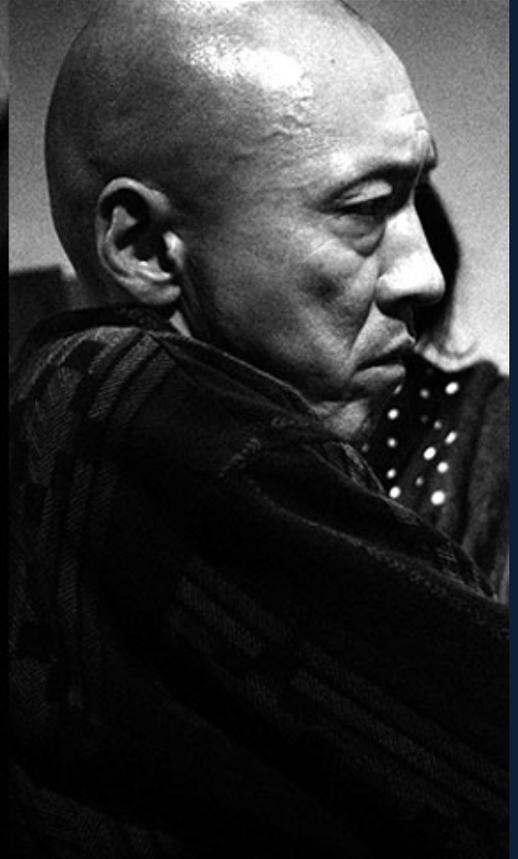
CAFE **B**EULMANS

世田谷区成城6-16-5 カサローザ成城 2F

03-3484-0047

mail : info.cafebeulmans@gmail.com

メールでご予約の場合、
必ず当日ご連絡の取れる電話番号を
ご記載下さい。



纈纈雅代

岐阜県出身。1歳より2人の姉の影響でピアノを弾き始め3歳からピアノを習う。幼少期より音楽が大好きで、高校入学後にチャージャーパーカーに出会い絶大な影響を受ける。15歳でソプラノサクソ、16歳よりアルトサクソを手にする。高校在学中に名古屋音楽学校でクラシックサクソ、ピアノ、理論を学んだ後、ジャズに転向。高校卒業後は音楽から離れるが、2005年単身ニューヨークへ訪れたことがきっかけで音楽の道を目指す。2008年9月10日、SONY MUSIC『鈴木勲 SOLITUDE Feat. 纈纈雅代』でCDデビュー。そのオリジナルティは唯一無二としようされる。2015年、KING RECORD『鈴木勲、AVE MARIA』に参加。2019年、深川 OCT JAZZ FESTIVALで鈴木勲 OMA SOUNDで参加。2015年、オリジナル曲集の1stアルバム『Band of Eden』を自身のレーベル SuiSui Recordより発売。2019年彩流社より著書「音の深みへ」が出版される。2022年ニューヨーク Relative Pitch Recordより初のソロアルバム「FUKIYA」がリリースされる。2023年ブルックリン等でソロライブを行い好評を得る。bebop~free jazz~ improvisation~funk fusion~hard core~noise等ジャンルに縛られずに独自のスタンスで活動中。

酒井俊

1976年、伝説のJAZZ CLUB「ミステイア」で歌い始める。翌年には初めてのアルバム「SHUN」がリリースされ、センセーショナルな反響を呼ぶ。リーダーアルバムを続けて計3枚、また手元にあるなしを含めた多くのレコーディングに参加、と同時に殆ど休まずに歌う約2年半を過ごしたが、突然渡米する。2年間のマンハッタンでの生活、そして帰国。約8年間の子育てを主にする家庭生活に入る。その後、日本語の歌を積極的に取り入れた方向で渋谷毅と再会、復帰する。様々な国の様々な唄を歌い続け、阪神淡路大震災の後に生まれた「満月の夕」と運命的な出会いを果たす。「満月の夕」を歌うにあたっての賛否両論の中、何年にも渡って毎夜歌い続け、2003年には「第45回日本レコード大賞企画賞」を受賞、2004年辺りからそれまでの活動を見直し、新たな音とうたの可能性を模索中。従来の音・うたのあり方から大幅に変化すべく、即興演奏・民族音楽の影響・トラディショナルへの傾倒を反映しつつ、セッションではない継続を、演奏家たちとの終わりのない共同作業へとその時間は積み重ねられており、09年には8年振りの2枚組「Night At The Circus vol.1」を、10年には「PLAYS STANDARD vol.1」「a few little things」を制作。ジャケットは、絵本作家荒井良二氏の描き下ろしイラスト24作品.....という豪華盤を2枚同時発売する。そして12年には「螺旋階段な日常」をリリース、現在に至る。また、10、11、12年とベトナムにて歌うなど海外にても活動の幅は広がっている。

田中信正

1968年横浜生まれ。4歳より電子オルガンをはじめ、16歳でクラシックピアノに転向。国立音楽大学作曲学科中退。クラシックピアノを小灘裕子、ジャズピアノを藤井英一、橋本一子、佐藤允彦 各氏に師事。1993年横濱ジャズブロンナード第一回コンペティションで、グランプリ及び個人賞ベストプレイヤー賞受賞。共演者と創り上げる自由で即興性に富んだ演奏活動は、JAZZのフォーマットばかりではなく多岐に渡る。現在は、数多くのユニットのメンバーとしてライブやレコーディングに参加している。ピアノトリオの範疇を超えた自己のユニット「田中信正 KARTELL (山田晃路 b、大槻カタル英宣 ds)」、2010年より酒井俊ユニットのベトナム公演に度々参加、林正樹(pf)とのPiano duo「のぶまさき」、2014年からは超弩級ユニット「田中信正トリオ作戦失敗 (落合康介 b、橋本学 ds)」を始動、好評を博している。2018年10月、「田中信正トリオ作戦失敗」による第二作CD「キティ組曲」をリリース。
<http://tnobumasa.net/>